

ひろば大代

NO.228

大代公民館

第十三回「都市とふるさとを結ぶ 交流会」のご案内

大代高山会

大代高山会では、お盆に帰省される皆さんを囲んで都市とふるさとを結ぶでの交流会を次の様に企画しました。

- 一、日時 八月十五日(土)午後4時
- 一、場所 大代小学校駐車場
- 一、受付開始 午後三時半
- 一、開会行事 午後四時〜同二十分
- 一、焼肉会 午後四時三十分〜七時
- 一、余芸大会 午後四時三十分
- 銭太鼓・安来節・飛び入り他
- 高山神楽公演 八時半まで
- 一、納涼盆踊り大会 午後八時半〜十時半まで
- 尚、焼き肉会参加の方は小学生以上一人千円の「参加費」が必要です。
- 交流会に合わせ当日小学校プールを午前十時から午後四時まで一般に開放

致します。監視員はいませんので、子供さんはそれぞれ保護者の方が責任を持っていただきますようお願い致します。

是非町民の皆様方ご参加下さいませ。様ご案内してお待ちしております。



「ふれあい」を求めて

大代小学校教頭 佐々田和樹

大田市在住のALT(外国語指導助手)は、学校の枠の外へも自分たちの「ふれあい」の幅を広げたがっています。三中に来てくれるティファニーとクレアーに大代小学校に来ていただくよう話を進める中で実感した感触を公民館へお伝えしたところ、快く門戸を開いて下さいました。

五月二十六日から開設した教室はその名も「ふれあい教室」と付けていただき、単なる英会話のみならず、ここで人と人が出会い、理解し合い、睦み合う場所となつてきています。

両ALTのお国である米国と英国の様子や文化の紹介に始まって、ブラウ

ニーやスコーンといったお菓子づくりなど、座学に終わらず体験的にみんな嬉々として学び合うこの教室こそ、「生涯学習」のあるべき姿といっても過言ではありません。

また、この四月に大代に赴任した私にとってはALTの取り持つ縁で、より一層深くこの町のことを知る機会が与えられますし、ここでの出会いが両ALTにとっても地元の人々と、そして真の日本文化と「ふれあう」場ともなっているのです。

米国に帰国するティファニーさんに替わる新ALTも交えて九月に再開される本教室に、より多くの町民の皆様のご参集をいただきますように！

福祉弁当を届けて

上市 中垣貞義

福祉弁当が始まった当初より、主旨には賛同して頂きました。お世話なされる方、福祉弁当を受けられる方如何かと心配していましたが、皆様方の心暖まる熱意と行動で着実に軌道に乗りましたね。

お弁当を受ける方も本当に喜んで待っておられます。配達した時の皆さんの笑顔を見て大変嬉しく思います。

自治会長として最初の試食弁当を頂き、感じた事はプロにない味と形、配色等の心細やかで外観と品々の味の違いが皆さんの熱心な心の現れだと思えます。見て楽しく食べて美味しい味、皆さん一人一人のお顔が浮かんで来るようです。有難うございました。

各自治会の婦人会の皆さんの献身的な奉仕に対し、深く深く感謝致します。どうか今後も長年社会に尽力された方の為にも頑張っつて継続して下さい。



市消防ポンプ操法大会を終えて

上飯谷 武田 穣

消防団入団と同時にいきなり選手として大会に出場した。

○氏の「やっっていくうち楽しくなる」という言葉に乗せられ練習に参加した。最初の練習から二週間「しんどいな

あ」という気持ちが一先行するばかりで○氏の言葉は嘘であるとさえ、思う日々であった。

しかし仕事上、出張から帰った或る日の練習であった。今まで積み重ねた成果どころか、完全に忘れ去りまた一からという状態であった。他の選手、回りで指導して頂いている方々も呆れるばかりであった。その日の練習会の反省会では、私自身これではいけないと思ひ、操法の疑問を皆さんに質問し大会とは別にその大切さを理解した。

その上での練習では、○氏の言葉も次第に理解出来てきた。出張中でも出来る限りシュミレーションもした。俄然自身の心も高揚する。練習も楽しく本気になりだした。

そして臨んだ大会本番、結果は第十位と常に上位クラスである大代分団としては腑甲斐無い成績で終わった。ただ私としてはポンプ操法のなんたるかを学び大変貴重な体験をさせて頂いたと思っっている。

この紙面を借りまして一カ月余りの間、ご支援頂きました団員の皆様方に感謝致します。有難うございました。

「所感」

第七回関西高山会総会を終わって

関西高山会事務局長 中本 弘

毎年恒例の関西高山会総会が去る六月二十一日、リーガ・ロイヤルホテルで行われ、盛会に終了したことを報告します。

当日は雨天で足元がことのほか悪いにもかかわらず笹木大代公民館長、市原市議会議員、高村連合自治会長、田辺婦人会長その他多くの方々が出席され、会に花を添えていただいたことを衷心よりお礼を申し上げます。

さて総会も回を重ねていくと私共役員の悩みは会への出席者が年々少なくなつて来ることです。聞くところによると東京石見高山会も同様な悩みがあるとのこととです。

会では会長を中心に本年は超一流のホテルで開催したり、毎回懇親会の席を盛りあげる工夫をしています。結果は出席者の願ふれも毎年同じでありそれ以上の出席も望めないのが、現状です。次回からは目的を踏まえた運営をするともに費用も出来る限り安く

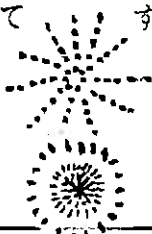
ふる里大代を共有する者が食事をしながら、ふる里の訛で「やれんが」「どがあしんさった」等を交えながら雑談、盆踊り等も含めた会にしたいと考えています。

尚今回の会では大代婦人会の健在ぶりを目の前に見せていただきました。アメリカの詩人サムエル・ウルマンの詩「青春」を地で行っておられる熱年パワーを見て、ふる里大代は婦人会の一人ひとりの活動にかかっていると印象を強く感じました。

そして来年の第八回総会は六月十三日を予定しています。皆様のご出席を心からお待ちしています。

関西高山会に出席して

上市 木村幸司



一年ぶりに「関西高山会」出席の為大阪府に向いた。出席の目的は、80%が営業目的、20%が親父の代わりと幅広い世代のパイプ役として何かの役に立てればと思ったのが始まりであったのだが、何度か出席して僕の知ら

ない大代の歴史などを聞かせて頂き、今ではそれが楽しみで出席している今日この頃である。

今回出かける前から去年とは違う嗜好を期待して出かけたのであるが、一流ホテルを利用したと言うのが去年と違った嗜好であった。何処の会も色々試行錯誤されているみたいで、役員、皆さんも大変だと思おうのであるが、私個人としてはせっかく皆さん一年ぶりにお会いしたのである。それぞれにマイクを回して近況や会に対するご意見などの話を、面白おかしく聞かせてもらったほうがカラオケを聞くより有意義ではなかったかと思った。

はるばる大代から出向いて行かれた方々も皆さんの事は元より、本会に対する希望や意見なども聞きたかったのではないかと思う。ピリカラの北京料理も好いけど、脂っこい四川料理も美味しかった！けど。

そして田中関西高山会副会長の開めの挨拶の中で「この会のもう一つの楽しみとしていろんな料理を食べ歩こうと提案された。食い倒れの町らしい発想である。食通の僕としては、非常に

楽しみな事で、次年度が待ちどおしく思った。

最後に関西高山会をはじめ、皆様方の益々のご繁栄をお祈り致しますと共に、大変に生意気な意見を記述しました事をお詫び申し上げます。関西高山会参加報告に関する感想を終わります。

- ◆ 1日(土) 色別対抗ナイター綱引き
- ◆ 4日(火) 子宮がん検診
- ◆ 10日(月) あすなろ句会
- ◆ 15日(土) 第十三回「都市とふるさとを結ぶ交流会」

八月行事予定

- ◆ 1日(土) 色別対抗ナイター綱引き
場所 公民館広場 午後七時〜
 - ◆ 4日(火) 子宮がん検診
 - ◆ 10日(月) あすなろ句会
 - ◆ 15日(土) 第十三回「都市とふるさとを結ぶ交流会」
 - ◆ 20日(月) 編集委員会
場所 小学校駐車場 受付3時半
 - ◆ 23日(日) 連合自治会
 - ◆ 25日(火) 「介護保険の研修会」
午前9時半〜 公民館で
- 皆さんの参加をお待ちしています。

